大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價 一ヶ月 金八十錢 三ヶ月 金二圓三十錢
新京永樂町一丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三〇〇番
發行人 十河 信二郎
編輯人 杉本 男
印刷人 谷 吉

關税率改正の理由及びその方針

二十二日財政部から發表

滿洲國財政部は輸出入關税税則の部分的改正を斷行、廿二日之に關する敎令、海關進口税税則中改正の件及海關出口税税則中改正の件を公布し二十三日より實施することゝなつたが、これと同時に財政部より關税改正の理由及方針を次の通り發表した

(一) 改正理由

抑々我が現行關税率は舊中華民國時代のものを其の儘踏襲したる結果我國産業經濟並に民國生活の現狀に照し相當不合理又は不適當と認めらるるものあり、之が改訂の必要は切實なるものあれども關税率の改變は各般の財政經濟に及ぼす影響極めて甚大なる關係上特に愼重攻究の要あり、輕々に斷行することを得ず依て當部は一般的根本的の關税改正は少くも爾三年の準備期間を置きて其の間に於ける我國財政經濟の趨勢を檢討したる以外は國際經濟の動向に睥睨し內は內國税制の整備改革と相俟て之が實現を圖らんとするの根本方針を樹てたり然れども現行關税率の中甚だしく我國の實情に即せず産業の開發を阻み現實の國策遂行に障害を與へ或は却て收入目的に背馳するが如きものに就ては叙上の一般的改正の時期迄之を徒苒放任することを得ず、能ふ限り速かに之が改訂を行ひ以て應急の措置を講ずるの必要あるを認む

右の理由により當部は一般的改正に至る迄の暫定措置として茲に關税率の一部改正を行ふこととしたり

(二) 改正方針

暫定的改正の方針としては前記主旨に基き左の標準によることとせり

(イ)我國財政の現狀に鑑み財政收入に著しき減少を來すが如き改正は之を行はず

(ロ)暫定的改正なるが故に單なる形式上の改正は此際行はず

(ハ)部分的改正の結果一般税率に不權衡を齎すが如き改正は之れを避く

(ニ)消費税としての權衡、是正を目的とする改正は行はず

(ホ)而して左の條件に合致するものは可成此の際改正し關税負擔を緩和す

(一)著しく排外的色彩ありと認むるもの

(二)著しく産業保護的色彩ありと認むる税率にして我國に之が保護に該當すべき産業なきもの

(三)主として生活必需品にして特に高率なる爲輸入阻止の狀態にあるもの

(四)財政上許容し得べき限度に於て我國産業の開發上切實に必要ありと認むるもの

(五)我國都市計畫實現の爲切實に必要なりと認むる建築材料

(ヘ)前項減免税により生ずべき税收減を補填する爲負擔力に餘裕ありと認むる品目に就き税率を引上ぐ

(三) 改正品目

(イ)著しく排外的又は不必要なる産業保護的色彩を有するものとして選びたる品目は莫大小製衣類(六〇)靴下(六二甲ノ一)ターキッシュ、タオル(六六)家庭用及洗濯用石鹸(四九九)麥稈製及﨟製帽子(五六四丙の內)陶磁器(五七六)の六品目なり

(ロ)生活需要品にして特に高率なる爲輸入阻止の狀態に在るものとして選びたる品目は腿帶子(六四)綿ブランケット及ブランケット地(六七)別號に掲げざる毛織物(九七)鮮魚(一二五八の內)普通印刷用紙及新聞印刷用紙(五一三)別號に掲げざる席(五六一)別號に掲げざる蓆(五六二)地下足袋(六二一の乙)の八品目なり

(ハ)財政上許容し得べき限度に於て我國産業開發上切實に必要ありと認むるものとして選びたる品目は輸入品關係に於ては農家用機械(税則番號新設二一六の二)探鑛用機械(新設二一六の三)硫黄(四四二の甲)家畜改良用動物(六一〇の內)棉花栽培用棉子(三五六の內)及飼料(三二五)の七品目輸出品關係に於ては鑛油(新設一〇二の二)パラフィン、ワックス(新設一〇四の二)ウッド、パルプ(新設一六一の二)綿羊毛(一八九)鐵鑛及輸鑛(二二〇の丙)別號に掲げざる化學藥品及化合物(新設二四九の二)の六品目なり、之等は何れも我國の農業、畜産業、鑛業及原料工業の開發に資せんとするの目的を以てするものなり

(ニ)我國都市計畫實現の爲切實に必要ありと認むる建築材料として選びたる品目は釘(一五六)バーブトワイヤ(一七八中特掲)電球其の他配電用器具(二三六の甲)ペーント(新設四七七の二)水硬性セメント(九八七)屋背用瓦(五九三中特掲)別號に掲げざる建築材料(六一二)の七品目なり

右各該當品は主要なる建築材料なるが我が建國以來都市計畫及各種建設事業の勃興に伴ひ異常なる需要を喚起し價格の暴騰を呈しつつある現狀なり、依て建設事業の一段落を告ぐる迄の應急的措置として一應に現行税率を半減し以て目下の急需に對應せんとするものなり

(ホ)前各項の減免税に因り生ずべき税收減を補填する爲税率の引上を爲すべき品目として選びたるものは葉煙草(三八八)のみなり

東亞産業の使命

宇佐美會長記者團招待

東亞産業協會創立されたに就き會長宇佐美顧問は二十二日午後六時在京新聞記者團を千鳥に招待し左の如き演説を試みた

諸滿洲國創建以來日滿官民一致の努力に依て建國の理想は着々實現され特に經濟方面に在つては幾多の『困難』を排してその基礎的機構の整備改革に努力し概ね所期の計畫を達成し今や將に新規中正なる經濟機構に立脚して國內産業開發の實行期に入りました事はまことに同慶の至りであります然し乍ら今日までの努力は全く基礎的の工作に過ぎず眞に産業の圓滑健全なる發達のためには益々兩國官民一致の勇敢なる努力と適正なる企劃施設を要することは申すまでもありません、偶々「ロンドン」の經濟會議が事實上決裂の運命に逢着し全世界は必然的に『數個』の經濟ブロックに分立せんとする動向を示し世界の不安は益々深刻化しつつありまして此の大勢に對應し亞細亞民族の獨立と繁榮を確保するためには急速に日滿經濟ブロックの強化を計ると共に進んで東亞全民族の融和協力による東亞經濟聯盟を結成し、東亞全域を一つの經濟ブロックとしアジア人のアジアを確保する事の急務を痛感するものであります、茲に於て吾々日滿有志相はかり各方面の賛同協力を得まして東亞産業協會を設立し、滿洲國の産業開發を促進すべき調査研究をなすと共に、東亞經濟聯盟の確立に貢獻すべき事業を行はん事を企畫いたしました、事業の項目につきましては目下立案計畫中にて具體的に發表する迄には至つて居りませんが、之は頗る多岐多端に亘る『見込』であります幸ひ各方面より御賛助を得ましたのでこれによつて來月早々より活動を開始する豫定であります

本協會の使命は只今申上げたる通り頗る高遠なるものでありましてこれが達成には一々東亞諸民族の覺醒と協力に俟たねばならぬことは架説を要しません殊に社會の啓發輿論の指導に任ぜらるる新聞通信社關係各位就中今夕御來會の在京日滿新聞各位の御助力に負ふところ頗る多いのであります

露領漁區に借料納入ア港債券を拒絶

ルーブル問題再燃重大視さる

(東京二十二日發國通)露領漁區借料は日露間に昭和六年『成立』したルーブル換算率協定に依り(一ルーブルに就き三十二仙五厘)ロシアがカムチャツカ株式會社に發行せしめた總額二千五百萬ルーブルの所謂ア港債券を購入して拂ふことになつて居り、この手續は浦鹽の國立銀行がやつて居るので、十四日露領水產組合代表が組合員の借區料を右の率で納入した處、ア港債券は發行總額が超過して居るとて右納入を拒否しだ、よつて樺山口領水產組合長は直ちに外務省に陳情したので、外務省では浦鹽の山口總領事をして眞相調査せしむると同時にソ聯側の不法處置なる確證が擧がれば、同地官憲と國立銀行首腦部に對し『嚴重』抗議することになるが、ルーブル問題の再燃として重[illegible]

自衛移民計畫並に概況(六)

(ヘ)富源の利用 炭山は詳細の視察をなしたる上報告するを以て拓務省に於て技術員を派遣し要すれば事業家と契約して發電工事を起さしめ移民の爲電燈、農産加工、製材、交通設備及通信電力等に利用せしめ移民團は勿論該地方開發に貢獻せしむるの希望切なるものあり

(ト)冬季副業 十一月以降に於ては專ら農產物の整理及加工並建築諸準備に當部を置き御副業として製炭、地方運輸の一部に着眼し之が計畫を進めんとする意圖を有す

(チ)團員の動靜

(一)戰死者 入殖地附近治安維持の爲先遣隊の一部は東宮大尉の指揮する吉林軍樺川支隊と合し駝腰子附近に集結中の匪賊と二月十五日挑戰交戰せるが石戰闘に於て福島縣移民步兵一等兵渡邊熊治は頭部貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げたり

越へて三月二十日午前十時永豐鎭東方約一里の部落に約三百よりなる乘馬匪賊襲來せるを以て先遣隊は入殖地及其の附近一帶の治安維持の爲之と交戰中岩手縣移民豫備役輜兵上等兵匠藤宗助、同步兵一等兵菅原玉吉民補充兵步兵二等兵加瀨谷功は何れも名譽の戰死を遂げたり

是等戰死者に對しては目下關係總に於て優遇方考究中なり

(二)除名者 佳木斯上陸以來十六名の除名者を出せるが內二名の外悉く不良行爲者にして改悛の見込なき者なりしを遺憾とせり、目下尙二、三名意思薄弱にて轉業を出願中のものあり極力訓戒中

(リ)結言 要之、第一次自衛移民は諸種の艱苦を凌ぎ漸次風土北滿の事情に慣れ匪賊亦平定せらるるに至りたるに加へて同胞の理解と同情とを得て最近著しく自覺し、上司の訓示、指導員の命に從ひ統制ある集團移民としての機能を發揮しつつあり

(第四)昭和八年度自衛移民計畫

昭和八年度自衛移民計畫に關しては昭和七年度に於て入殖せしめたる地方に前回同樣五百戶を入殖せしむることに大体の方針決定し目下拓務省、陸軍省並に關東軍に於て着々計畫を進めつつあり、八年度に於ける募集地域及人員は第一師管下八〇名、第二師管下九〇名、第八師管下一二〇名、第九師管下一二〇名、第一四師管下九〇名合計五〇〇名とし五月二十日より六月二〇日迄內地に於て訓練をうけたる上六月二十三日神戶乘船渡滿した(完)

産業協會ポスターの懸賞募集

滿洲國の産業建設は今や日進月歩着々として健實なる發展に向ひ建國の大理想を具体化しつつあるが、世界の等しく認めてゐるところである、この時に當り一層その産業開發促進を期し、尙は東亞經濟聯盟確立に貢獻する事業を行ふ目的から過般創立された東亞産業協會は愈々來月早々發會式を擧げ、その業務を開始するが先づその第一着手として既に産業ポスターの一般的募集を行つてゐる、在滿畫家は勿論最近內地より續々と入滿する畫家で、この意義ある仕事に應募を志す者多く、その題材に關する參考資料を統制提供してゐる滿洲經濟事情案內所では應募者の來訪並びに問合せに目下多忙を極めてゐる、締切りは本月末であるが右東亞産業協會今後の刮目すべき大事業の門出たるこのポスターの出現は世人の等しく待望んでゐる處、その應募規定は左の如きものである

一、滿洲國の鑛工業、農業、牧畜、林業、移民、交通、都市計畫の一乃至數項を包含象徵せるもの

一、應募作品は、ケント紙大判半截

一、締切、發送地、郵便局の七月三十一日附消印あるものたること

一、賞金
一等 一點、五百圓
二等 一點、三百圓
三等 二點、各百圓
選外佳作 五點、各五十圓

尙は詳細は滿洲經濟事情案內所に問合せの事

珠玉を碎く

(六十五)

長篇新聞小説 吉井勇 (高根秀浩畫)

指環(一)

京子が澁谷の山根大輔の別莊の宴會から歸つて來たのは、もう夜も二時近くだつた。

山根大輔といへば、人に知られた船成金で、機を見るのに捷い彼は、その後の暴落時代の纖維も巧に切り拔けて、今ではもう押しも押されもしない、一流どころの實業家の仲間入をしてゐた。

鬼大藏といふ綽名は、その口の惡いところからも來てゐたが、まだその外にも、權九郎といふ名もあつたし、また鯨を踊子といふところから、新橋や赤坂邊では半玉が好きだといふやうな意味にも用ゐられてゐた。

その山根大輔は、兎に角それが自分の商賣の種にもなるのであるが名士交際が馬鹿に好きで、何かといへば大臣だとか領袖株の政治家だとか、あるひは實業家の大物といつたやうなところを、自分の別莊に呼んで御馳走をして、それを新橋に弾き立てさせた、さういふ時は新橋二橋はもとより、芳町邊の一粒えりの名妓の席に侍ることは勿論だが、時には日本舞踊の女優達も、そこに招ばれることがあつた。その晩も京子を始め露子、鈴子、てる子といつたやうな水立つた女優の外に、まだ二三人招ばれて行つて、その連中の『娘獅子』の餘興が出たり何かしたのだつた。

京子はもう幾度も山根の澁谷の別莊には、招ばれて行つたことがあるので、來てゐる客も大抵顏馴染の人ばかりだつた。大臣も二三人見えてゐたが、その中では外務大臣の相良伯が、一番酒も飲めば冗談もいふので京子は多くその相手にばかりなつてゐた。今は野黨の民友會の領袖として人に知られた中根翁にも、得意の詩を書いて貰つたりした。何といつてもかういふ場所にあれば、京子が一番綺麗を知られてゐるし、持つて生れたその才氣が一擧一動にも現はれて、他の女優達ばかりでなく、藝妓達までが、すつかり壓倒されてしまつたやうな形だつた。

殊に露子は近頃賣出したばかりなので、かういふ場所に出ると怯めだつた。明かに敵意を持つて、自分ばかりが女王顏をしてゐる京子の顏を見ると、ぢつと耐へては居るものゝ、口惜くつて口惜くつて堪まらなかつた。

『何が大臣だ。何が政治家だ。何が實業家だ』

そこに居並んでゐる人達の顏を見てゐると、偉さうに見えてゐても、何だかそれは表面ばかりで、心の中ではみんなきつとくだらないことを考へてゐるのだらうと思ふと、何か話し懸けられても、返事をする氣にもなれなかつた。

『露子さん。ちよつといらつしやいよ。あなたを紹介して呉れつて方があるんだから……』

さういつて京子に呼ばれて、相良伯の前に坐らせられても、これが時めく外務大臣かと思つた位のもので、唯素つ氣ない返事をしてゐた。よく新橋で『風鈴玉』などゝいはれてゐるのを思ひ出して、何だかちよつと可笑しくなつた。

『ほんとに今度のあなたの支那の芝居はいゝよ。あれは全く綺麗だ。若芳以上だ』

相良伯はさういつてしきりに露子に酒を勸めた。京子と露子とを前に置いて、すつかりいゝ心持になつてゐるらしかつた。

『おい相良君。君はかへつてかういふ方面の外交の方がうまいぞ』

誰か遠くからそんなことをいふものがあつても、相良伯は唯默つてにやにや笑つてゐた。

京子はすつかり醉つて歸つて來て、寢床に入つてうとうとしながら、その晩のことを思ひ返してゐたが、不圖そこまで考へて來ると何だか暗い疑ひがおほふやうに心の中を蝙蝠のやうに飛び交つた。

今後の經濟戰に備ふる帝國政府方針決定

輸出統制と直接的互惠獎勵

列國の對日暴壓に反省を求む

（東京廿二日發國通）經濟會議失敗により經濟通商戰激甚化に外務省では將來の通商政策に次の如き根本方針が確立した

一、輸出統制確立のこと、本邦品の海外進出は生產過程の合理化、技術機械の進步、賃金低廉、爲替安など正當な理由に基くものだが當業者中一二自制なきものが海外に於いて投賣りすることあるため爲替ダンピングなどと云はれる今後は輸出統制を許可して列國への惡印象除去に努む

一、互惠主義を採用すること、列國孰れも自國保護に汲々たる時無條件最惠國待遇の一點張りでは時代に適せぬ、列國との通商關係は互惠主義で調制し本邦當業者は相手國當業者間に直接的互惠取極を獎勵す

一、列國の對日暴壓を極力反省を求め本邦品の海外進出は前述の如く正當な理由によるものであり不當廉賣等の事業はない、而も現在の圓安は一時的な現象で之を理由に列國が現行稅率引上げの場合圓貨恢復した際にも引下げはせず、斯くて日本は爲替障壁と圓貨昂騰に二重の損害を受けるに至る、列國が一時現象に藉口して恒久的に日本品を排斥するが如き非友交措置を講じないやうに嚴重反省を求める

日英協議會問題に

ランシマン英商相回答を發す

（東京廿二日發國通）日英協議會問題に關するランシマン英商相の回答は午前外務省に到着したが、英國の意向は左の通りである

一、印度綿業に關する日英印度の三國協議會をシムラで日印交涉と平行して開催すること

一、印度關稅事項を除く日印問題は印度會議後ロンドンにて日英當業者間で協議すること

一、ロンドン協議會協議品目は綿織物、人絹交織物で之等に關し日英業者に通商協定を締結させること

一、右協定の適用範圍は英本國と直轄殖民地で其他は除外する

一、英帝國內自治領にして關稅自主權を持つて居る國には日本政府で個別的に協議され度い

一、協議進行中兩國政府の協調援助が必要の場合には適宜斡旋する

英商相の回答に對する我復答方針決定

（東京二十二日發國通）日英通商協議會に關するランシマン英國商相の長文回答が午前松平大使から外務省に到着した、外務省では昨二十二日午後之が對策を協議したが大体左の方針が決定して居り之に基づき松平大使から復答させる筈である

一、民間業者の直接商議により兩國政府は必要に應じ節事促進を斡旋するにとめること

一、協議題目は綿布に限る、英國が絹人絹を包含せんとせば當業者の意向に依つて之を受諾す

一、協議範圍は英本國と殖民地の市場に於ける數量協定に限る

印度問題は日印通商條約交涉の決定を待つて協議すること

一、協議時期は日印交涉後とするを原則とするが便宜上平行して開催するもよい

一、協議の場所は右の關係上印度とするを希望する其點は固執せず

吉鴻昌軍昨日

日滿軍との衝突を避ける爲すでに退却を開始

（天津二十二日發國通）二十二日張家口よりの當地來電に依れば、多倫に在る吉鴻昌軍は日滿軍との衝突を避けるため退却を開始した

米金融復興會社對ソ借款成立

必然ソ聯承認迄進展せん

（東京二十二日發國通）米國金融復興會社は既にソヴィエトロシヤのアムトルグと對露借款を成立せしめ兩國の貿易促進を遂げ、而もその發展は必然的にロシヤ承認にまで赴く形勢にあり成行注目されて居る折柄二十二日その筋來電に依れば右借款協定に依る最初の棉花積出を開始した模樣である、即ち第一船は十四日棉花九千五百俵を積みニューオーレアンス港發レーニングランドに向つたが、第二船も同港發キーストン經由で近日積出す筈であると

鐘紡

二割配据置

（東京二十二日發國通）鐘紡では二十二日午前十時より日本俱樂部に定時總會開催、配當年二割五分据置を可決した、津田社長はアルゼンチンでは爲替管理を實行したから輸出商品の代償價格を羊毛で受取り、絹紡工場を改善して羊毛工業に進出するとの新計畫を發表した

紐育諸株

一九二九年以來の大暴落

（ニューヨーク廿一日發國通）本日株式市場スチール株の五弗安を始め、主力株外諸株共一九二九年以來初めての大暴落を演じ、三弗乃至十七弗方の續落をした

時局につき

＝荒木陸相語る＝

（東京廿二日發國通）荒木陸相は、二十二日左の時局談を發した

明年度豫算は陸海軍事費を始め其他各省新規事業中相當多額の經費を要するものと觀られ財源の問題が『心配』されて居るが豫算の多少よりは海外の情勢、國內の動向等から判斷して各省に於ける豫算の分捕りをやめ政黨本位の仕事をして行かねばならぬと思ふ、今回設けられた交通會議の如き此弊を改めやうとするものである、陸軍關係の豫算に就ても入營兵士の結核療養所の設備費の如く陸、內務關係になつて居るものは內務省豫算でやつて貰ふことに話を進めて居る、しかし何れにするも財源が少いことは明かだが大藏當局も明年度豫算は公債だけでやつて行くのは無謀のやうだ、滿洲に於ける治外法權撤廢、滿洲附屬地の還附に就ては勿論滿洲と云はず支那に對しても之を撤廢することが原則であるが滿洲國がまだ建國日も淺いので具體的考案を下すに至つて居ない、關東軍の恒久施設に就ては明後年度即ち十年度から行ふ方針で派遣士官を恒久性のものにするか、交替性のものにするか決定は十年度豫算の際にならう、北鐵讓渡會議はロシアが第一の切札を出した譯で、まだ第二、第三の切札を持つて居るだらうが『將來』の情勢を見て對策を定めても良い、內閣に無任所大臣を設けることに就ては種々噂を行つて居るが之は總理の定められることで自分は知らないが、嘗に高橋藏相から鈴木政友總裁に話された時は藏相個人の考では無いやうだが今後如何なるか全く知らぬ

齋藤首相時局談

（葉山二十二日發國通）齋藤首相は內田外相、大角海相と午前十一時半葉山御用邸に伺候して天機を奉伺した後葉山別邸に入つたが次の如き時局談を發した

一、政民兩黨總裁が無任所大臣で入閣せば擧國一致の實が擧がり歡迎するが今日まだ其卵にもなつて居らないから彼此言へぬ、最近政黨にもそんな傾向が有るさうだが政黨のためにはよくない

一、增稅問題では高橋藏相を訪問しない、增稅出來ればやり度いが各閣僚と相談の上である

察哈爾問題で

蔣介石黃郛に訓令

（北平二十二日發國通）支那側の情報に依れば、蔣介石は二十日黃郛に宛てチチハル省問題に就ては專ら政治的解決を圖り、武力解決を避くる樣電命し來たつたと、右は事實なるものと如く平綏線上にある龍炳勳部隊は二十一日より前進を中止し居れり、尚于學忠は廬山會議列席のため二十二日南下した

義勇軍改編費

河北省から支出

（北平廿二日發國通）國聞通信社の消息に依れば、李際春軍改編問題は漸く一段落し改編費として三十四萬元、外に改編部隊の一ヶ月分軍費として八千元計三十四萬八千元を支給することとなり（右金額は河北省政府より支出）二十三日殷同がこれを携行して李際春に手交し、同時に薛士行が唐山にて李軍の改編を行ふ筈、尚秦皇島にある石友三軍の（人數九百、小銃五百）の接收に就ては石が現に大連にあるを以てその參謀長胡某と劉石孫との間に交涉を進め大体解決なり、一先づ全部隊を玉田に集中したる上一部と保安隊に改編し、一部を山東へ歸へすこととなつた又北平、山海關間の直通列車運轉は石軍の玉田移駐後となる筈

石友三氏

奉天へ

かねて滯京中であつた前義勇軍將領石友三氏は二十三日午前九時奉天滿鐵病院へ入院のため二十三日午前九時奉天へ向つた

鄭家屯基點の直通電話

架設計畫

（奉天二十二日發國通）鄭家屯を基點として双山、梨樹、懷德に通ずる直通電話架設計畫は奉天情報處に於て立案中であつたが省治安維持會の補助を得、いよいよ十七日新京久保田工務所との間に契約成立し八月三十一日に竣工を見ることとなつた

執政に謁見すべく湯玉麟來京か

（天津二十三日發國通）支那益世報晚報の報ずるところによれば、目下來津中の湯玉麟は來る二十五日天津發海路大連に向ひ更に執政に謁見すべく新京に赴くことに決定してゐると

驚さなきんな

ソ滿開戰など大ソレた宣傳

只の夏季野營演習

我陸軍一笑に附す

（東京廿二日發國通）ソヴィエート軍がチタ以東の各驛に集結し陣地を構築しソ滿開戰近しとの滿洲里よりの電報に對し、陸軍當局では公電も無いし信ぜられぬ、北滿鐵道讓渡問題、滿洲國の江防艦隊の黑龍江進出を承認し、ソヴィエートで親滿策を執つて居る時に左樣のことは有り得ぬ、赤衛軍の夏季野營演習でも誇大に報道したのだらうと一笑に附して居る

水災民救助の功により

回教徒に二千五百元を給す

（ハルビン廿二日發國通）昨年大水災に際しハルビンの回教徒は奮起してハルビン回教水災救濟會を組織し許公路清眞寺を救濟場に充て災民の救濟に從事し前後數千人の災民を收容救濟に當りその間幾多の經濟上其他の困難と戰ひよくその目的を遂したのであつた特に楊振峰といふ一糴米商が犧牲的安價を以て多量の糧米を供給し大いに救濟事業を助けた、市公署ではその功績を認め七月十九日ハルビン回教救濟會會長劉聘卿及當地の東西及外城の三ヶ清眞寺の責任者及楊氏を市公署に招き二千五百元を劉會長に交附した會長は直に楊氏に對し協議の結果三ヶ清眞寺に分配し、一同當局の同情あるこの措置に感謝し回教全体を代表し厚く禮を述べて退出した

滿洲在家裡代表

十八日歸奉す

（奉天廿一日發國通）滿洲に於る在家裡は日滿親善の目的を以つて奉天、營口、新京、吉林、ハルビンより各代表を選出、去る六月廿八日新京發渡日各關係者を訪問、七月十八日歸着したが奉天代表祖憲庭氏は左の如き感想を語つた

我々代表一行は七月十八日東京着、宮城に參拜後各省を訪問渡日の目的及び將來の希望を述べ更に大阪、京都を旅行したが其の間上下國民より非常な歡待を受け大變に嬉しかつた、日本の朝野は滿洲國の發展に對し非常なる關心を持つて居られた、之が爲我々も滿洲國の健全なる發達に就いての責任を痛切に感じた、日本の發展は非常なるもので、僅か六十年間に斯くも急速なる發展を來したるは上下國民の協力一致に外ならない、今回の渡日によつて日本の努力の偉大さを目擊し滿洲國人をして非常に力づけられた

尚ほ代表一行は七月二十四日新京に赴き、軍部其の他に對し種々希望を開陳する筈である

特產出廻迄に運賃を改正したい

宇佐美鐵路總局長談

國鐵視察途上二十日來京關東軍交通監督部との間に國鐵の合理的經營、滿洲に於ける鐵道統制及國鐵の運賃改正等の諸問題に關し、種々意見の交換を行ひつつあつた、宇佐美奉天鐵路總局長は二十二日午後四時三十分歸奉の途についたがヤマトホテルに忙中の氏をやつとつかまへ、意見をたたけば次の如く語る

從來思ひ〳〵の方針の下に異つた方法により經營されてゐた國鐵を統制單一化し合理的經營の既定方針に向ひ、着々準備を進めると共に一部は既に實行に遷つてゐる、合理的經營に向ふ爲には廣範圍な人事の移動、組織の改正、規定の變更、賃率の一定等が焦眉の急務とされてゐる、これ等の問題に關しては私が過般訓示した通りである、運賃の改正は各方面よりの注視の的となつてゐるが是非早くやりたいと思つてゐる、準備、研究等も着々進められてゐるから特產の出廻りまでには運賃改正の運びとならう國鐵視察は奉山線を除いて全部終つた、近く觀察の感想を纏めて述べたいと思つてゐる

人事往來

▲岩間德也氏（滿洲國文敎部督學官）講演のため二十三日朝發奉天へ
▲染谷保藏氏（盛京時報社長兼本社代表）二十三日朝發歸奉
▲中島比多吉氏（執政府諮議）二十三日朝發奉天へ
▲岡村少將（參謀副長）二十二日午後七時五十分歸京
▲島本大佐（ハルビン憲兵隊長）同上
▲島本大佐（ハルビン憲兵隊長）二十三日午前八時四十分ハルビンへ
▲小磯中將（參謀長）二十二日午後四時三十分大連へ
▲伊藤海軍大佐（軍政部顧問）同上
▲石友三氏（前義勇軍將領）二十三日午前九時南行

團体

▲栃木縣產業視察團十二名二十三日午前六時四十分來京國都ホテルへ
▲明治學院商業生十一名二十三日午後三時二十五分來京同十時安東へ
▲福岡商業生五名二十三日午前八時四十分ハルビンへ
▲大連第二中學生六十五名二十三日午前六時四十分來京吉林往復
▲神宮皇學館生二十五名二十三日午六時四十分來京
▲愛知縣見本市團十三名二十三日午前八時四十分ハルビンへ
▲神戶商大生十八名二十三日午後四時三十分安東へ
▲佐久生十名二十三日午後六時五十五分來京
▲神奈川縣見本市團二十名二十三日午前八時來京同八時四十分ハルビンへ
▲東京外語生二十一名二十三日
▲新潟見本市團十一名二十三日午前八時來京
▲學生相撲團二十九名二十三日午前八時來京同八時四十分ハルビンへ

興安總署勸業處長原鐵四郞儀豫テ病氣ノ處養生不相叶七月二十日午後八時二十分新京滿鐵醫院ニ於テ死去致候間此段御通知ニ代ヘ謹告仕候

追而二十五日午後四時曙町大正寺ニ於テ告別式執行可仕候

昭和八年七月廿一日

新京中央通二八松島還方

妻　健也
嗣子　三枝
親族總代　原龍三郞
　　松島鑑
　　菊竹實藏
　　小松八郞
友人總代　橫瀨花兄七
　　突永一枝

赤旗をふつて 列車をとめ人質拉致
昨日午後吉會線で

二十二日午後一時三十分ごろ吉海線双河鎭、柴収の兩驛中間に吉林發客貨混合列車が差し懸つた際、前方に赤旗を翻へし停止を命ずるため停車するや列車の兩側から突然四百余名の匪賊が現はれ列車を包圍し旅客の金品を強奪した末、日滿人三十餘名を拉致し逃走した旨吉林に急報があり同守備隊では直に裝甲列車を仕立てゝ現場に急行したが、その時賊は既にいづれへかに逃走した後であり空しく引揚げた、三十餘名の生命をきづかはれてゐる

コレラ注射の 注意すべき事がら
塚本滿鐵醫院長談

北平及承德方面に發生したコレラ病の未然防止をはかる爲に新京署衛生係、地方事務所、消防隊等衛生當局では豫防注射の徹底を期すべく廿一日再び第二回の豫防注射を實施してゐるが初日二十一日の受注者中日本人某氏は注射の反應として卒倒したので家人は非常に打驚き早速堀山醫師の診斷を求め大事に至らず漸次快復しつつあるが果して右の如くコレラ注射が危險が伴ふものであるか否か塚本滿鐵院長は右に付き往訪の記者に語る

豫防注射といふものは其の病菌を体内に注入するので其の

＝反應＝ は必ずあるものである

が各個人の体質抵抗力の強弱によつて差異を生ずるが普通は多少の輕い吐瀉、下痢、微熱等を起す事があるが痙攣などこは初耳だ、特に受注者に注意して頂き度い事は心臟病、腎臟病、脚氣、妊娠等の者は絶体に注射を避けねばならないこれ以外の者は何等差支ないが受注した一日だけは暴飲暴食をつゝしみ寢冷え夜更かし過度の運動等も絶体に避けたが良い、出來得れば特に体質の虚弱なる者は前日の飲酒もつゝしんだ方が安全である、注射を行つてから四五日位から效力が發生するものであるが受注したからといつて絶体に傳染せぬものではないから矢はり相當、注意を怠らぬ様に心掛けねばならない、中には自分は

＝注射＝ して居るからと暴飲、暴食をなし不衛生的な事も平氣でやる者が往々あるがこれ等は最も危險な事である、以前の新京のコレラ病は營口、大連、安東の三方面より侵入して居たが今年は山海關、熱河方面よりの陸路からの侵入があるから油斷なく注々自重せねばならない

來京者の激增に備へ 列車一輛增結
滿鐵の新サービス

新京へ新京へと二十世紀の寵兒、世界の驚異の的となつてゐる新京目指して來る旅行團視察團、一般旅客は激增の

＝一路＝ を辿りつゝある、殊に夏期休暇に入つたのと第一回除革期が完了した爲最近では超滿的な增的を見せ、殆ど毎著列車毎に滿員の盛況であるが

新京鐵道事務所では之が緩和策に關し、種々具体案を研究中のところ最も利用者の多い新京午前六時四十分著第十五列車及、新京午後十時發第十六列車に二十三日より各三等車一輛を增結することゝなつたなほ今後乘客の多い場合は適宜に車輛を增結

＝旅客＝ のサービスに萬全を期する筈である

公衆衛生展
けふから開く

準備がおくれて再度延期されてゐた公衆衛生展はいよいよ今二十三日より五日間の豫定で室町公學校内で開かれることゝなつたが第一日午前中は日曜日であり入場者多數詰めかけ頗る賑はつた、毎日午前九時から午後九時までである

ポスト機 フエアバンクス發
尙十時間をリード

〔フエアバンクス廿一日發國通〕世界早廻りのポスト機は廿一日午後五時四十五分(日本時間廿二日午前十一時四十五分)當地發カナダのエドモントンに向つた、當地迄の時間前回に比し尙十時間五十三分リードして居り、ポスト氏はニューヨーク著迄一晝夜近く前回記錄を破ると意氣込んで居る

十家堡西北方に
徒步匪賊

二十一日午後五時頃十家堡西北方十五支里小㞗子に現はれた頭目不明の徒步匪賊三十名は耕作中の農民二名を拉致、同地北方黃城子に向つたので追擊中であるが、廿日十家堡に出現した匪賊と同一のものと見られてゐる

生產黨神兵隊
計畫其の他漸次判明

〔東京廿二日發國通〕大日本生產黨の神兵隊に就いては其の後嚴重取調續けして居るがピストル多數

＝隱匿＝ をして居る模樣があるので、極力追究の處去る十九日檢擧した群馬縣高崎市農業高橋梅雄を取調の結果、高崎の大化會支部を襲ひ同所に於てピストル九挺、實彈五百九十八發を押收した、ピストルは大官巨頭を暗殺する目的の爲十一日の神兵隊檢擧當時は東京市内に匿されてゐたが、一味檢擧をするや同日正午高崎の大化會支部に處分方を依頼したものである、九挺の中五挺は滿洲より持來つたものだが四挺は出所不明で取調中尙ほ神兵隊の襲擊計畫は全員を三隊に分け、第一分隊は拔刀隊として警視廳を、第二分隊も拔刀隊として首相官邸を第三分隊はピストルと十七個の水筒に詰めた揮發油とを持つて政界及び財界の大官巨頭を襲擊、暗殺し、市内の騷擾用として携行せる揮發油を各所に撒布放火し帝都の攪亂を

＝計畫＝ したもので其の役割配屬人員並びに背後の關係者に就いては引續き取調中である

雨降つて地固る 電信電話會社
藤井遞信局長の斡旋努力で 漸く圓滿解決の模樣

〔大連廿二日發國通〕滿洲電信電話株式會社創立事務所遞信局側從業員四十名が不平爆發して、二十一日遞信局に

＝引揚＝ げたことは既報の如くであるが、陳情を受けた藤井局長は直ちに創立事務所に井上總務部長を訪問して、事務所側も遞信局員側の意のある所を諒承し總て誤解に基く結果だから、會社側としては充分遞信局側と協調を保つて會社の使命に邁進する事を言明し、藤井局長に慰留方を依頼する處あつたので、藤井局長は遞信局に引返し協議の結果相當强硬論もあつたが局長の説明により二十二日より從前通り執務するに決し會社側の今後の態度を靜觀することとして一段落ついた、此の不平の爆發は早くより豫想されてゐたことゝて、今回の事件が却つて清涼劑となり雨降つて地固まるの諺通り圓滿に協調が保たれるものと見られてゐる、一方會社側では廿二日遞信局側從事員も出動したので午前十一時より會議室に

＝全員＝ を集め井上部長よりお互に會社の圓滿發展を願ふ所は何人も同樣であるから今後共舊勤に注意して職務に勉勵されたいと訓辭するところあつた

待遇パスの 取締の徹底を期す
最近不正使用激增

最近滿鐵發行の待遇パスの貸與、亂用及紛失等が續々として起るので滿鐵ではこれが取締及防止に努めつゝあつたところ二十二日四平街驛待合所に挙動不審の一滿人が居るを警手內藤義三氏が發見、取調べの結果滿洲國交通部職員待遇パス昭和七年十二月一日發行第九百四十五號(通用期間昭和七年十二月一日より八年十一月三十日)を所持して居り同パスはさきに交通部にて紛失したものであることが判明した右につき滿洲では今後不正パス行使防止に徹底を期するといきまいてゐる

協和會生れて けふで丸一年
周年記念放送を行ふ

協和會では來る七月二十五日は同會が國務院に於て發會式を行つてから滿一周年の成立記念日に當るので記念日をトし、何等か意義ある催しをせんものと、かねて寄々協議中であつたが二十三日より二十九日までの七日間を民族協和週と名付け徹底的に滿洲國の立前である王道政治、民族協和を鼓吹、普及せしめることなり、これが具体的方法としてはラヂオの演藝、並に講演を以て行ふに決定、協和會のラヂオ放送時間である四時三十分より五時三十分の一時間をこれに使ふ事になつた

廣東アジア協會が 滿洲へ呼掛く
「團結して白人の侵略に當れ」と

廣東大アジア協會より昨廿一日滿洲國政府當局に別項の如き「新國家民衆に告ぐ」と題する傳單を送付し來り大アジア主義を唱道する滿洲國要人少壯官吏の間に一大センセイションをまき起して居る、以下原文譯を掲載す

△新國家民衆に告ぐるの書 新國家民衆同胞諸君よ聽け

―孫文(中山)先生は中國々民黨總理である、先生は大アジアの大聯合を主張し八月十四年日本神戸に於て「王道と覇道」に就て講演を爲したが題目は大アジア主義であつた

その講演中より一つの例を擧ぐれば

「歐米人は丁度中國人の隣人であり日本人は寧ろ兄弟と言ふべきものであつて此の兩者間には親疎の關係を見ても同じからざるものがある、例へば兄が病氣で起てない時は隣人はこの機をばかり病人から掠奪を仕はんとする而して弟たるものが兄に助太刀に來ないで却つて外人の仲間入りをする、此の場合老兄は隣人を恨む方が深いか弟を恨む方が深いか

滿洲國新國家民衆及び日本全國民衆よ聽け、我々大アジア諸國民族によつて外國たる隣家「赤白帝國主義」の火事場盜人を防衛する日本は我々の兄弟である、敵に對する防衛に助太刀してくれるものだ

「敵とは誰だ、帝國主義者である」我アジア諸同胞よ、醒めよ、孫文先生の遺訓を忘れるな

廣東大アジア協會籌備處主席 陳耦如 李勁謨 白

スローガン

一、孫文先生の大アジア主義實施
二、國際間一切の不平等條約の廢除
三、滿洲新國民族努力奮鬪成功
四、日滿華三國共存共榮
五、大アジア諸弱民族の復興
六、アジア民族よ一致團結せよ
七、赤白帝國主義者を打倒せよ
八、明治天皇の大アジア同盟の實現
九、國民黨軍閥を打倒せる
一〇、滿洲國成功萬歲

星ケ浦の 海濱聚樂から
第二信 室町小學校

長い旅
松田義雄

僕等一行は多數の見送り人に見送られて十八日の夜十時の汽車にて新京を發した、みなの人々はなか〳〵ねむらないやうだいやねむられないのである、僕は十一時頃になつてやつとねむりについた、しばらくしてあまりあたりがやかましいので起きてみると隣りの中西君たちがしやべつていたので「早くねろ」といふと「ねられない」といつたから「ねられなかつたらしやべるな人にめいわくだから」といつて毛布にくるまつた、山本君はぐつすりねている、僕は一すしやくにさわる位だ

しばらくたつてそつと目をあけたら松永君もねむれないといつて寢苦るしそうだ、眞暗だ、隣りの中西君は相變らず起きていたので「今は何時」と聞くと「二時だ」とおしへてくれた、今の中西君の聲に山本君も起きて來た、汽車ははてもなく續く大陸を南へ南へと走つてやがて大連についたそれから荷物はトラツクにつんで電車にのつて星ケ浦へやつて來た、目前には僕等を早くこいと波がよんでいる、ホテルでふろにはいつたりごはんをたべたりして其の夜はぐつすりねた

鮮銀の增築計畫に 附近住民反對
「建てるなら店舖向にせよ」と

祝町朝鮮銀行支店裏に廣大な土地を貸下けられ一部は

＝行員＝ の宿舍が建てられ大半は空地となつてゐたが、土地拂底の折柄殊に祝町通りに面した方を煉瓦塀のみで置くは勿体ない若しも必要のものならば返還すべしと滿鐵土地係から迫られた鮮銀支店は早速宿舍增築工事に着手しやうとして、之を聞いた祝町の住民は俄然反對し出し委員をあげ鮮銀支店長に先づ交渉、それより地方事務所商工會議所その他に陳情し住宅建築を阻止しやうとしてゐる、反對理由は祝町通りは將來商店區域として便宜あり發展の余地あるを宿舍を建てられてはその繁榮を阻害する、殊に鮮銀の宿舍は既に建築されあるものだけでも餘剩があり貸家としてゐるくらひであるから若し

＝建築＝ するならば店舖向の貸家として欲しいと云ふにある

京大問題大 團圓か

〔京都廿二日發國通〕廿二日午後一時半京大法學部の中島末廣兩教授は法學部殘留組七教授を代表して松井總長と會見正式に留任の旨回答、同時に辭表撤回して同二時辭去した、之によつて三ヶ月余に亘つた京大問題の紛糾も一段落を見るに至つた、佐々木、田村の教授は依然として强硬である

おでん屋「江戶吉」主人 逃走中捕はる
愛妻に死別花街に足踏入れ、借財に苦んだ揚句

市內三笠町三丁目江戶吉支店こと木船林吉(三五)は去る五日愛妻に死別し以來花柳界に足を踏み入れ遊興に耽つてゐる內著へてゐた千圓余は消費した末仕入先に三千圓余の不拂となり商賣を繼續することが出來ず仕案にくれてゐる內料亭いく代の仲居田中久江さんから電話家財道具を抵當に入れ二千圓を借り受け營業を續けてゐる內田中久江さんに同店を二千六百圓で讓渡し二十一日行方不明となつてゐるを債權者が發見し新京署に屆出同署の手配で朝鮮に渡らんとしてゐるを安東署員に逮捕された

奉天洗濯屋の 橫領外交員
逮捕さる

奉天稻葉町五丁目朝日洗布所店員大淵保司(二六)同立岡西島權一郎(二七)の兩名は集金六十圓餘々橫領し新京に逃走城內東大馬路滿人旅館出來園方に僞名し潛伏中を奉天署の手配で二十二日午後七時新京署員に逮捕された

高野範士以下 强者連が近く來京

滿鐵運動會では近く全埼玉縣劍道部を招聘し、まづ大連で全滿洲軍との試合を行ふことになつたが一行は高野佐三郎範士以下教師號三名、精錬證十六名、四段五名、三段六名その他三十三名の强豪揃ひで一日午前八時、大連から來京、全新京聯合軍と試合をなし二日午後十時奉天へ向け出發の豫定である

曙町長春寺の 骨地藏緣日

市內曙町淨土宗長春寺では二十四日境內に安置奉祀してゐる子安骨地藏の緣日に當るので午後二時からと同八時からの二回法要を營み一般參詣者に供物を頒つ外餘興として晝は小供相撲を催し澤山の賞品を用意し又夜は境內屋外の涼しいところで活動寫眞を映寫し參詣者に見せるそうだ

日本基督 の映畫會

日本神學校生(竹森滿佐一)氏指導の下に

明二十四日(月曜)夜八時より中央通り日本基督教會日曜學校生徒及一般父兄教會員の爲に同會堂に於て映畫會を催す來會歡迎

プログラムは 現代劇「子」全六卷 同「松葉杖の小女」全六卷 時代劇「申比根元大殺生」全八卷

現代劇「子」はミドリ雅子主演同「松葉杖の小女」は西川鈴子主演、時代劇「申比根元大殺生」は光岡龍三郎主演のものである、講題「クリスタス(キリスト)代記」の他實寫數種

新京署 武道納會

新京署では二十三日午後一時から同署道場で七月稽古の武道納會を盛大に擧行した

幕末異聞 愛慾火箭

作 瀧川駿　畫 村瀨洗舟

（百二十二）

綾羅路の家（四）

押入から匐ひ出した町人體の男を見て源が笑つた。

『男一匹——押入にあり、だね』

『ほゝゝゝ』

お君に笑ひを射られて、小四郎のばつの悪さ……。

『衛門さまのお住居が八丁堀とは——道のお君さんにも氣がつかなかつた』

早苗が居るので、お君はつとめて快活に、——そして與四郎に纏つてゐる素振りは微塵も見せなかつた。

お君の嬌羞さが、強く小四郎の氣持を惹いたらしい。

小四郎は火鉢の側まで生歩寄つて固くなつてゐた。——

『駿田氏、紹介申す……これが何時かお話し申し上げた、お君と申す者でござる。——お君、このお方は、拙者の親友で水戸の天狗黨の驍將、藤田小四郎と

のだ。——』

『拙者は藤田……』

『……妾お君でございます』

二人ははじめて口を利いた。

その瞬間から何となくお君の胸には小四郎が頼もしく見えた。

——源と早苗とは取り殘されたやうに、手もち無沙汰にぼんやりしてゐた。

『姐御あつしは一足先に歸りやす。だが氣をつけなすつて』

『?——』

この言葉を一座の者が、聞き咎めた。

『待つてお呉れよ、お前さんも人が悪いよ。衛門さまの所へ來ると言や、手土産の一つ位は持つて來たものを』

『なあに、姐御はゆつくりしておいでなせい』

源は斯う言ひ捨てゝ起ち上つた。そして、たど／＼と娘の足どりで出て行つた。

『お邪魔しました』

後姿を見送つてゐた。

『早苗どの……』

與四郎は振り返つて何かを早苗に言付けてゐるらしい氣配。

早苗は早くもそれと知つて、源の後を追つて送り出した。

がらりと開いた雨戸。戸外は寂と靜まつた眞夜中である。

大空には銀砂子を撒いたやうな星月夜だつた。

ひゆう、と冷たい風が一陣土砂を捲いた。

低い軒下を、源が歸つて行つた。

ぱッちり、早苗が雨戸を閉す音が靜けさを破つた。——今まで沈默を守つて、石を刻んだ像のやうに火鉢を取り圍んでゐた三人は早苗の姿が部屋の中へ、這入つて來てから話がはじまつた。

『衛門さま、暫くでございました——お變りが無くて何よりと言ひたい所でございますが、御病氣のやうでございますね…』

お君の改まつた挨拶。小枕に凭りかゝつてゐた與四郎の口は重い。

『鬼のカクランと言ふ奴で…』

『大事なお身體でございますから充分に御養生なすつて……』

お君の殊勝な言葉に、與四郎はほろりとなる。——

『お君、そなたは今何處で何をいたしてゐるのだ?』

解し兼ねるお君の容姿を氣にせずには居られない。

一目で解る、遊人の女房と言ふお君の格好だつた。

だが、今の稼業を、お君は與四郎に明す氣になれなかつた。

『あなたと同じ、十手の風に追ひまくられてゐる商賣でございます……』

『はて?』

早苗は千家流、靜かにお茶をすゝめた。一番鶏が何處かに

玄關から源が言ふ。四人は暫く默。また戸口の雨戸を叩く聲

許から鳥の立つたやうに、源のがあつた。

七月廿四日（舊閏六月二日）月曜　辛卯　先勝　成　張宿

●一白の人　輕動して自分より福徳を逃がすべき不安日　丙と亥と寅が吉

●二黑の人　苦務甲斐ありて有利に解決を見る日相談吉　辛と壬と癸が吉

●三碧の人　油斷なく八方に心を配れば八九分迄の成功　未と亥と寅が吉

●四綠の人　頗る良運にて萬事愉快に開發すべき吉慶日　乙と亥と寅が吉

●五黃の人　名利に心昧みて受く可らざる禍を招くべし　甲と庚と辛が吉

●六白の人　運氣甚だ引立たず自ら災害に陷る事を作る　甲と乙と庚が吉

●七赤の人　狼狽して終に仕損じあるべく靜かに處理吉　乙と亥と癸が吉

●八白の人　幸運自ら開け來りて目的の遂行せらるゝ日　庚と辛と壬が吉

●九紫の人　艱難に打勝の丈の努力あれば成功を見る日　丁と癸と寅が吉